

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会(令和2年度第1回)

議 事 録

【日時】令和2年4月29日(水祝)18:00~20:00

【会場】LINEグループによるWeb会議

定刻にLINEグループ「2019-2019 神鍼会理事会」にて役員下記9名が出席をし、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、本会議は成立した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事録署名人選任 4、議事 5、閉会の辞

【出席 9名】理事:秦、藤田、草山、林、栗田、長野、清水

監事:日野、森下

【欠席 2名】服部、萱間

【議長】秦会長代理 【書記】林 【議事録署名人】秦、森下、日野

【議題】

〔I〕報告事項

1. 入退会の報告(2020年3月1日以降、4月1日まで):林総務部長

以下の報告があった。

◎ 入会者 1名 近藤和也

◎ 退会者 10名 渡部伸平・川崎英明・江川広志・内田舜・山田興行(逝去)

・大野恵・上田真由子・後藤由美子・宮坂壮二・徐由実

令和2年4月1日現在の会員数 238名(正会員 228名、学生会員 10名)

現在審議中 0名

2. みなし決議案:林総務部長

資料に基づき、以下の報告があった。

① 令和2年度事業計画案承認の件(令和2年3月13日承認)

② 令和2年度役員選挙管理委員会設置承認の件(令和2年3月16日承認)

3. 会務報告(業務執行理事報告)

(1)第1回業務執行理事会:藤田副会長

資料に基づき、報告があった。

藤田副会長より、事務局稲垣氏の在宅勤務については、学術部 PC 買替の必要性があり購入をしたこと、また、セキュリティ等安全面に配慮しつつ、同 PC の運用を考えているとの補足説明があった。

4. 各部報告

(1)総務部:藤田副会長

① 令和2年度事務局体制および面談の件

資料に基づき、以下の報告があった。事務局職員 3 名とともに継続の意向を確認し、業務分掌や業内容（新型コロナウイルスの現況より在宅勤務含）については、総務部で検討し随時理事へ報告することが報告された。

② 事務所備品の件

藤田副会長より、事務所備品で挙がっていた「キャビネット」は事務所へ設置済みで、その活用方法は今後検討する予定であること、「学術部 PC」の OS のサポート状況よりセキュリティに問題があり買い替えたこと、また、「台車」を一台購入したことが説明された。

(2) 財務部：栗田財務部長

資料に基づき、以下の報告があった。

① 令和元年度決算のための事務作業 (3/4)

栗田財務部長より、千葉財務副部長が事務局と決算について打ち合わせを行ったことが説明された。

(3) 学術部：藤田副会長、草山学術部長

資料に基づき、以下の報告があった。

① 令和元年度第 4 回学術講習会開催 (2/23)

藤田副会長より、小児をテーマとし、浜野浩一先生（鍼灸師・マッサージ師、NPO 法人鍼灸地域支援ネット理事）をお招きし、日常の小児鍼と災害時の小児鍼についてご教示いただき、また、西村真紀先生（医師・家庭医、川崎セツルメント診療所所長、日本プライマリ・ケア連合学会理事）をお招きし、小児臨床における注意点、鍼灸師としての視点についてご教示いただいた。新型コロナウイルス感染症による影響下で、参加できなかった方がいた点は残念であったが、参加者には満足度の高い有意義な回であったことが説明された。

② 令和 2 年度第 1 回学術部委員会開催 (4/19)

草山学術部長より、zoom システムを使った Web 会議を行い、年間学術行事の決定、第 1 回学術講習会を中止とし、第 1 回イブニングセミナーを Web 開催で進めていること、今年度中止とした回を会員へ還元する対策として、来年度の講習会を増やすことを考えていることが説明された。また、藤田副会長より、Web 開催については宋会員と平岡会員を交え検討中であること、中止にした講習会の費用を Web 開催の準備費用として充当すること、東洋療法研修試験財団生涯研修は Web 開催では認められない可能性があるとの補足説明があった。

(4) 保険部：長野保険部長

資料に基づき、以下の報告があった。

① 保険部業務 (2/10~27、4/13~23)

② 県内国保指導会 (3/9、4/9)

③ 組合協会健保指導会 (3/22,4/22)

④ 保険業務引継ぎ組合協会健保返戻作業 (3/22)

⑤ 第 4 回保険委員会 (3/22)

長野保険部長より、橋口保険部員は新型コロナウイルスの感染への懸念から業務参加を控えてもらっていること、3密リスクを減らすために人員を減らして業務を行う方向を考えていること、6月に予定している初心者講習会については學術部（の検討者達と相談し）Web開催を検討していることが補足説明された。

(5) 組織共済部：清水組織共済部長

資料に基づき、以下の報告があった。

① 令和元年度業団説明会3校（2/25、2/27、2/28）

清水組織共済部長より、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた横浜医療専門学校の業団説明会が中止となったことが説明された。

(6) 広報部：秦副会長

報告事項なし

(7) 普及部：秦副会長

報告事項なし

(8) 危機管理委員会：秦危機管理委員長

報告事項なし

5. その他

① 監査会の開催（4/26）

秦副会長より、事務所にて監事2名と事務局定成氏による監査会を行ったことが報告された。

〔Ⅱ〕 審議事項

(1) 総務部：林総務部長、藤田副会長

① 役員等報酬支給規程改正案承認の件

林総務部長より、総会資料の一つである（別紙7）役員報酬支給規程改正案の件と、改正後役員等報酬支給規程について、資料を確認の上、内容確定としたいとの提案があり、全会一致で承認された。栗田財務部長より、本規程の改正は総会承認であるため、4月1日から5月31日までの手当支給は6月10日を予定していることが補足説明された。

② 総会資料承認の件

林総務部長より、会員へ郵送する総会資料について、資料を基に確認があり、（開催場所以外の）内容については問題なく承認され、別紙等の資料が全て揃った時点で再度確認をすることが総意となった。藤田副会長より、総会委任状ハガキの返送締め切りを事務局と総務部で検討した結果、5月15日（金）としたことが報告された。また、添え状を作成し、同時郵送を考えていることが説明され、内容についての確認が求められた。日野監事より、添え状に「場合によっては総会を中止にする場合があります。」等の文言があると良いのではないかとの意見が挙げられた。栗田財務部長より、総会の開催は必須であり、表現するのであれば延期でお願いしたいとの意見があった。

(2) 財務部：栗田財務部長

① 令和元年度財務諸表承認の件

栗田財務部長より、資料に基づき、決算報告があった。収益増の大きな要因として会費の値上げと国保取扱による保険部収入増があることが説明された。また、会の持続的成長に向けた基盤投資を計画的に進めるフェーズに入ったため、課題を整理しつつ必要（持続可能な会の活動）な投資群を整理する必要性が説明された。説明後に令和元年度財務諸表は全会一致で承認された。

(3) 学術部：草山学術部長

審議事項なし

(4) 保険部：長野保険部長

① 当会ホームページへ保険部ページおよび問合せボタン設置承認の件（長野）

長野保険部長より、資料に基づき、会員からの保険部への問合せに対し、事務局を介していることで事務局へ負担がかかること、時間的なロスがあること、回答の正確性に影響することなどから、当会ホームページに保険部が更新可能なお知らせページと保険部問合せ用メールアドレスへの問合せボタンを作成したいとの提案があった。藤田副会長より、基本的には良案であり、近い将来的には会員向けのパスワードを設けたクローズなものが作成できると会員全体のメリットにもなり得るとの意見があった。秦副会長より、公益法人に移行する際、ホームページにクローズなページがあると全部が公益とならないので全てをオープンにしたとの経緯説明があった。日野監事より、同じ公益社団である日鍼会は一般専用ページと会員専用ページを分けているとの説明があった。藤田副会長より、公益比率に関してホームページは公益・共益を按分しているはずとの説明があった。会員専用ページについては、今後議論を行うこととした。草山副会長より、本案の問合せボタンについて、事務局への問い合わせは電話とメールどちらが多いのかと質問があり、長野保険部長より、どちらが多いとは言い切れず、メールの後に電話でくるケースもあるとの回答があった。草山副会長より、電話問い合わせへの対策も検討しないと不十分であるとの指摘があった。清水理事より、問合せメールの宛先について質問があり、長野保険部長より、問合せメールの宛先はまだ決めていないとの回答があった。清水理事より、回答については会の統一意識が必要であり、責任が生じるため保険部長への負担増となる懸念が挙がり、長野保険部長より、これまでと負担量はそれほど変わらないと考えており問題ないとの回答があった。藤田副会長より秦副会長へ、当会のメールアドレスを増やすことは可能であるのかと質問があり、秦副会長より、料金は分からないがメールアドレスを増やせるとの回答があった。藤田副会長より、メールアドレスが増やせるのであれば、対外的なやり取りも考慮し、今後学術部や保険部などでも個別のアドレスがあると良いとの意見があった。秦副会長より、当会で使用しているホームページのメールサーバーは日鍼会が提供しているものであり、日鍼会に確認が必要との説明があった。メールアドレス増については、

藤田副会長が事務局経由にてリコー社へ確認、秦副会長が日鍼会へホームページメールアドレスについて確認をすることになった。秦副会長より、本案の保険部でホームページを更新できる点について、具体的に説明してほしいとの質問があり、長野保険部長より、保険部のページだけを操作できれば良いと考えているとの回答があった。秦副会長より、ホームページを操作するには専門の知識が必要で、迂闊に操作するとデータが壊れる等の不備が起こる可能性があり、理事全員が操作可能とすることは危険であるとの指摘があった。議論の末、ページの更新は今後の検討課題とし、保険部ページの作成と保険部への問合せボタン設置について決議がされ、全会一致で承認された。また、本件の詳細な進め方はインフォビジョン昆金氏、宋会員、秦副会長を含めて検討することになった。

(5) 組織共済部：清水組織共済部長

審議事項なし

(6) 広報部：秦副会長

① ホームページ更新権限について

秦副会長より、資料に基づき、急要なホームページ更新において、効率化を図るため IT 委員が更新できるようにしたいとの提案があった。藤田副会長より、本案には賛成であるが、IT 委員に権限を持たせることがデメリットになるのであれば、IT 担当理事としてはどうかとの意見があり、秦副会長より、新型コロナウイルスの影響により、既に迅速な情報発信が求められており、宋会員に負担がかかっている状況で喫緊の課題であることが回答された。また、藤田副会長より、ホームページ更新等のコストや契約について質問があり、秦副会長より、更新コスト等は設けておらず、年額 12 万円と併せて初期費用 40 万円を 4 年で割った金額（10 万円）を支払っていること、口頭で決めた内容であり、契約書はないとの回答があった。藤田副会長より、役員が内容等を理解するためにも契約の形を残すことは必要であるとの指摘があった。本提案は、全会一致で承認された。

(7) 普及部：

審議事項なし

(8) その他：

① 総会会場について

藤田副会長より、総会会場について、会場を当会事務所とすると 3 密になる可能性が高いため、別会場を借りることを検討しており、関内駅近くに 1 万円～1 万 5 千円程度で借りられる会場の見当がついているとの報告があった。栗田業務執行理事より、会場については、換気機能が重要であり確認の必要があるとの意見があった。総会会場を借りることについて全会一致で承認された。また、藤田副会長が会場の換気状態を確認の上、理事 ML にて報告と確認をし、手配を進めることが総意となった

〔Ⅲ〕 その他

① 会員へのアンケート調査について

藤田副会長より、会員の意向を汲むことができると良いと考え、会員のアンケート調査を検討しており、フォームを作成したので意見を伺いたいとの説明があった。また、対応がセットでなければ逆効果になり得るとの補足説明があった。急な作成であったため、本件について内容は改めて相談する事とし、行うこと自体について、全会一致で承認された。

次回、令和2年度第2回理事会は、5月24日（日） 16:00～18:00 開催予定

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

令和2年4月29日

代表理事

秦 崇志



監 事

森下 元



監 事

日野 博

